

祝 辞

山梨大学に入学されました皆様、誠におめでとうございます。

また、今日まで、温かく育んでこられました御家族の皆様のお慶びはいかばかりかと、心からお祝い申し上げます。

さて、今日、世界は日々、大きく変化しています。そうした中、本県に目を転じますと、リニア中央新幹線や中部横断自動車道など、県民生活に明るい展望をもたらす国家規模のプロジェクトが進行中であり、加えて、農産物や観光資源など、世界市場でも十分に通用する、数々の地域資源で溢れています。

私は、このようなチャンスや強みを最大限に活かし、昨日より今日、今日より明日が良くなるという、希望と元気と活気のある、そして皆様が豊かさや幸せを実感できる山梨県を創って参りたいと考えています。現在、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、人々のあたりまえの生活を脅かし、予測できない事態を引き起こしています。しかし、私達人類は、自然の猛威にひるむことなく備え、知恵をふりしぼりチャレンジしていく力があります。

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」をキャッチフレーズに、豊かな人間性と倫理観を備え、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成され、これまで県内外に多くの優秀な人材を輩出してこられました。皆さんの先輩である大村智先生は、「一期一会」という言葉を大切にされ、様々な人々との出会いを大事にすることで、人生を楽しく充実させることができると思っております。

全国各地から集まった皆様には、大学の仲間や地域の方々との出会いを大切にしながら、山梨大学において、広い知識と深い専門性を習得するとともに、この山梨県全体をキャンパスにして、様々な活動に積極的に挑戦されることを期待しております。

結びに、入学生並びに御家族の皆様方の御活躍と御多幸を心からお祈り申し上げますとともに、関係者の皆様の益々の御健康を祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和二年四月一日

山梨県知事 長崎 幸太郎